

実用会話—1

◀ 入社時、配属先で自己紹介する

Introducing yourself to your new section after joining a company



女① 加藤：初めまして、加藤と申します。何もわかりませんが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

④ 吉田：吉田です。よろしくお願いいたします。わからないことは、遠慮せずに何でもきいてください。

実用会話—2

◀ 異動後、配属先で自己紹介する

Introducing yourself after being switched to a new section



② コール：この度、こちらにお世話になることになりましたコールと申します。わからないことも多いと思いますが、よろしくご指導のほどお願いいたします。

③ 南：こちらこそよろしく頼むよ。君、けっこうやるらしいじゃないか。土屋さんから聞いたよ。

コール：え？ 土屋課長、ごぞんじなんですか。

南：ああ、わたしと同期なんだ。君のことはよく聞いてるよ。

実用会話—3

◀ 取引先で自己紹介する

Introducing yourself to a client



④ 原田：いつもお世話になっております。日本国際通商営業3課の原田です。お電話では何度もお話ししていたんですが、お会いするのは初めてですね。ご挨拶が遅れまして、失礼いたしました。今後ともよろしくお願いいたします。

⑤ シモンズ：こちらこそ、よろしくお願いいたします。なんだか、初対面じゃないみたいですね。

Notes

世話になる be under the care of、ことになる (has) come about that ..., 指導する lead, guide、お会いする = (Hu) 会う、今後とも from now on、おる = (Hu) いる

実用会話一 4

◀ 応接室で待っていた初対面の来客に自己紹介する

Introducing yourself to a guest at a reception room

④ マクスウェル：どうも、お待たせいたしました。広報を担当しておりますステイブ＝マクスウェルと申します。どうぞよろしくお願いいたします。

③ 岡本：初めまして、永井電気宣伝部の岡本と申します。この度は、御社の田島様のご紹介でまいりました。

マクスウェル：田島さんの紹介ですか。

岡本：はい。実はわたしの大学の先輩なんです。

COFFEE BREAK

「ポーカフェイスも技のうち」

「能面のような日本人」と言われることがあります。

確かに、欧米人に比べて日本人の感情表現はかなり控えめ、あるいは乏しいところがあるようです。



人間として、喜怒哀楽を感じることは、ごくごく当然のことです。それがあからこそ、人間的であるとも言えます。しかし、日本の社会には、そうした感情をあまり顔にださないようにするのが大人のたしなみであるというような価値観があります。不快感を露骨に表したり、人の前で部下を叱ったりすることは、日本社会ではとても嫌がられます。ポーカフェイスも技のうち、否定的な感情は控えめに。

とは言うものの、こうした感情のはけ口がないと、だれだって精神的にまいってしまいます。仕事が終わってからの、カラオケでストレス発散というもの、そうした感情をはきだす機会なのでしょう。

このテキストでも、そんな感情表現の言葉を、コラム『ひとりごと』で取り上げてみました。日本語で思いっきり感情を発散させたい時、TPOに気をつけて使ってみてはいかが？

Notes

お待たせいたす＝(Hu) お待たせする、待たせる、広報(部) PR Dept.、宣伝部＝広報部、紹介 introduction、※ TPO＝(Ab) Time, Place, and Occasion

2. 人を紹介する Introducing a person

基本会話

袋 井：こちらは、焼津建設専務の藤枝様。こちらは、企画開発部のロバー
ト=チェンです。

藤 枝：藤枝です。よろしく。

チェン：チェンです。こちらこそよろしくお願いいたします。

戦略表現

1 取引先に社内の人を紹介する

Introducing a member of your in-group to a client

- ① (こちらは) 課長の田中です。
- ② こちら、同じ課のマクラミンです。簡単な日本語ならわかります。
- ③ こちらは社長の藤堂です。
- ④ こちら、今度御社を担当することになりました、チェンです。私 同様よろしくお願いいたします。

2 社内の人に同僚を紹介する

Introducing your coworker to members of your in-group

- ① (こちらは) マイケルさん。今一緒に仕事してるんです。
- ② 新人の田中さんです。
- ③ こちらは同じ課のスハルトさんです。インドネシアの方です。日本語は大丈夫です。

3 社内の人に取引先を紹介する

Introducing a client to members of your in-group

- ① こちらは営業部長の塚田様です。
- ② こちらは弁理士の松井さんです。
- ③ こちらは風間印刷の風間社長です。

Notes

専務 a managing director、部 department、課 section、課長 a section chief、社長 the president of the company、弁理士 a patent lawyer、～印刷 ~Printing Comp.

※ You should not say this if you are not close to Mr. Kazama.

実用会話—1 ◀得意先に上司を紹介する Introducing your boss to a client

⑤ 川崎：課長の田中です。課長、こちらは営業部長の塚田様です。

(田中と塚田、名刺を交換しながら)

⑥ 塚田：どうも。塚田でございます。

⑦ 田中：田中でございます。いつもたいへんお世話になっております。

実用会話—2 ◀得意先に二人の上司を紹介する
Introducing two of your superiors to a client

⑤ 川崎：部長の堀部と、課長の田中です。こちらは営業部長の塚田様です。

⑥ 塚田：塚田と申します。よろしくどうぞ。川崎さんにはいつもお世話になってまして……。

川崎：いえいえ、こちらこそ。

⑦ 堀部：いつも川崎がお世話になっております。

実用会話—3 ◀新しい担当を取引先に紹介する
Introducing a new salesperson to a client

⑧ 山下：いつもお世話になっております。実は、私、今度大阪へ転勤することになりまして、ご挨拶かたがた、本日は後任の者を連れてまいりました。

⑨ 浅井：それはそれはご丁寧(ていねい)に。

⑩ 横尾：初めまして。今度、御社を担当させていただきます横尾と申します。よろしく願いいたします。

浅井：浅井です。よろしく。担当の方がずいぶん若返りましたね。

山下：ええ、若いんですけどしっかりしておりますので、よろしくご指導(しどう)のほど、お願いいたします。

横尾：今後ともよろしくお願いいたします。

Notes

部長 head of the division、でございます=(Po)です、実は to tell the truth、転勤する be transferred、
～かたがた while～、後任 a successor、者=(Hu)人、連れてまいる bring、若返る restore youth、しっ
かりしている steady, cleär

実用会話一4

◀廊下で会った、ほかの部の同期入社^{どうきにゅうしゃ}の社員に紹介する

To a person working in another division who entered the same time as you

③ 山田^{やまだ} : よう、久しぶり。

③ 中野^{なかの} : おう、元気？

(山田、中野と一緒にいる隣の外国人^{となりがいにこくじん}が気になって見ている)

中野 : ああ、こちらはマイケルさん。今一緒に仕事してるんだ。

② マクミラン : 初めまして。マイケル=マクミランです。どうぞよろしくお願いします。

山田 : あ、どうも。山田です。中野君とは同期入社で……。

マクミラン : ああ、そうですか。

中野 : じゃあまた。

山田 : じゃあな。

実用会話一5

◀新人^{しんじん}を紹介する

Introducing a new employee



② 池内^{いけうち} : 今日から仲間^{なかま}が一人増えることになった。横浜^{よこはま}の営業所^{えいぎやうしょ}からうちの課に異動^{いどう}になった加藤^{かとう}君だ。わからないことはみんなにきいて、1日も早く慣^{はや}れてほしい。じゃあ、加藤君……。

④ 加藤 : はい。今度、横浜営業所からこちらに配属^{めいりやく}された加藤です。こちらのことは全然^{ぜんぜん}わかりませんので、皆さんに迷惑^{めいわく}をかけることになると思います。が、一生懸命^{しっけんけん}頑張りますので、よろしくお願いいたします。

④ リュウ : 初めまして、リュウです。わたしも昨年^{さくねん}、こちらに来たばかりですので、ちょっとだけ先輩^{せんぱい}ですけど、一緒に頑張^{いっしょ}りましょう。

加藤 : はい、よろしくお願いいたします。

⑤⑥ 土山^{つちやま} : どうも土山です。この中で一番古株^{いちばんふるかぶ}かしら？ ここのことは、だいたいわかっているつもりですけど……。まあ何でもきいてください。

Notes

同期 enter in the same year, 入社する enter a company, 仲間 a fellow worker, 増える increase, 営業所 branch office, 異動 personnel changes, 慣れる get used to, 迷惑をかける give trouble

COFFEE BREAK

「挨拶と名刺」 めいし

日本でビジネスをする人たちにとって、名刺はなくてはならないものです。

初対面の人同士が挨拶する場合、必ず名刺の交換をするからです。
しよたいめん どうし しょうかん

名刺をまだ見たことのない人はいないと思いますが、日本人の名刺について説明しておきます。以前の名刺は、日本語で会社の名前や住所などが書かれていましたが、外国のビジネスマンや企業と取り引きが盛んになるにつれて、裏面にローマ字で書かれた名刺も多く見られるようになってきました。
うらめん

さて、名刺の交換ですが、その場合にも簡単な決まりがあります。

①渡す場合には、名刺の日本語の面を上にして、相手がそのまま読めるような向きで両手で渡します。
りょうて

②もらう場合にも、同じように両手で受け取ります。

受け取ったら、すぐにしまわず、まず名前を確認します。もらった名刺にローマ字表記がない場合には、読み方を尋ねたほうが丁寧です。しかし、相手の見ている前で、その人の名前を名刺に書きこむのは失礼にあたります。
ひょうき たいず ていねい しうれい

③そのまま、会議にはいる場合には、もらっ

た名刺を自分のテーブルの前に置いておけば、名前を間違えたり、忘れたりすることはありません。もちろん、会議中に、名刺を折り曲げたり、何かを書きこんだりしてはいけません。終わった後で、日付や特徴などをメモして、名刺ホルダーなどで管理しましょう。
めいし ちゅうとく

名刺は、日本でビジネスするうえで大切なものですので、自分の名前の日本語表記についても慎重に考えなければなりません。韓国人や中国人の場合は、漢字を使って名刺を作れますが、そのままでは日本式に読まれてしまいますので、自国語の発音にあった振り仮名をつけたほうがよいでしょう。それ以外の外国人の場合、無理に漢字を使って不自然な名刺を作るよりも、カタカナでわかりやすいものを作ったほうが無難でしょう。
ふなん



3. 久しぶりに会った時の挨拶

When you meet with a person whom you have not seen for a long time

基本会話

古川：ごぶさたしております。

市原：しばらく顔見なかったけど、どうしてたんですか。

戦略表現

1 久しぶりに会った時の決まり文句

Meeting someone after a long time

- ① 久しぶりですね。
- ② お久しぶりです。
- ③ ごぶさたしております。
- ④ 久しぶり。㊦

☆ While “久しぶりだ” means “I haven't seen you for a long time,” “ごぶさたする” means “I haven't contacted you for a long time” and is often used in apologies, as in the following:

- ⑤ ごぶさたいたしまして、^(※)申しわけありませんでした。

2 近況をたずねる／述べる

Asking about someone's recent situation

- ① 元気だった？ ㊦ — ううん……。㊦
- ② お元気ですか。 — まあね。そっちは？ ㊦
- ③ お元気でしたか。 — ええ、おかげさまで。
- ④ その後どう？ ㊦ — 相変わらず。㊦
- ⑤ お仕事のほうはいかがですか。 — ええ、おかげさまで、なんとか。
- ⑥ 仕事はどう？ ㊦ — まあまあですね。そちらは？
- ⑦ どうしてる？ ㊦ — 仕事は楽しいんですけど、毎日遅くて大変です。
- ⑧ 今、何していらっしゃるんですか。 — えっ、おんなじとこだよ。相変わらずね。㊦

Notes

しておる = (Hu) している、そちら = (Ho) そっち；あなた、いかが = (Ho) どう、おかげさまで (Lit) Thanks to you; Luckily、相変わらず same as usual、なんとか somehow or other、まあまあ so-so、してる = (Co) している、していられる = (Ho) している、おんなじ = (Co) 同じ、とこ = (Co) 所、※ 本来「申しわけない(こと)です。」であるが、「申しわけありません。」も広く使われている。

実用会話—1 ◀取引先と久しぶりに会った

When you meet with a client after a long interval



井出 いで : どうもごぶさたしております。

マイルス : あ、どうも久しぶりですね。夏休みはいかがでした？ どこかへいらっ
しゃいましたか。

井出 : ええ、久しぶりに妻と、北海道へ。

マイルス : それはそれは……。

実用会話—2 ◀海外赴任している同僚が一時帰国した

When a coworker returns to Japan for a short time from an overseas assignment



⑩ 小坂 : よう、久しぶり。元気だった？

⑩ 深沢 : ううん……。

小坂 : あっちはどう？

深沢 : いやあ。大変だよ。

体、もたないよ。

小坂 : ほんと？ 奥さん、どう？

深沢 : 今回は一緒に帰って来てる

けど、向こうが気に入っ

ちゃったみたいでさ。

小坂 : いいじゃないか。奥さんがノイローゼになっちゃって帰国した人もいたらし
いぜ。

深沢 : ああ、知ってる。でもこっちがノイローゼになっちゃいそうだよ。

小坂 : そんなに忙しいのか。

深沢 : ああ、今回ちょっと増員を要請しようと思ってるんだ。



Notes

帰国する go/come back to one's own country、体がもたない cannot keep this up any longer、向こう the foreign country、ノイローゼ nervous breakdown、増員する increase the staff、要請する request

4. 年末年始の挨拶 Greetings for New Year's and the end of the year

基本会話

—忘年会が終わって—
ぼうねんかい

下田：じゃあ、よいお年を！
しもだ

伊東：よいお年を！ 来年もよろしく。
いとう

戦略表現

1 年末の挨拶

Parting greetings at the end of the year

- ① よいお年を。
- ② 今年もいろいろお世話になりました。また来年もよろしく願いいたします。

2 年始の挨拶

New Year's greetings

- ① 明けましておめでとうございます。
- ② 明けましておめでとう。㊦
- ③ 今年もよろしくお願いします。

実用会話—1

◀冬休みでアメリカに帰る同僚と
ふゆやす どうりよう

When a coworker will return to the U.S. during winter vacation



女④ メアリー：あのう、明日からアメリカに帰るんで、しばらく会えないけれど元気でね。
あした

女⑥ 三上：あら、そう。いいわね。いつ帰ってくるの？
みかみ

メアリー：年明けの10日ごろかな？
としあ

三上：そう、じゃあ、とりあえずよいお年をね。楽しんで来てね。

メアリー：どうもありがとう。三上さんもね。

Notes

よいお年を！ (Lit) Have a good year; Have a good winter vacation!、年明け early in the new year、とりあえず just thought I'd say、楽しむ enjoy

COFFEE BREAK

「日本人のよくする質問」

日本人は、たとえ相手が初対面の人であっても、かなり個人的だと思われる質問をすることがあります。例えば、「年齢は？」「結婚していますか」「奥さんは日本人ですか」「お子さんは？」「何人いらっしゃるんですか」「ボーイ／ガール・フレンドはいますか」……。

しかし、これらの質問は、日本社会では、けっして特別なことではありません。日本語では、聞き手が年上か年下かが、会話のスタイルをきめるうえで重要なポイントとなりますし、話し手が聞き手の背景を知ること、自分との共通点を見いだしたり心理的共感や親近感をえられたりすることがあるからです。



もしあなたが、個人的な質問を受け、尋問されているようで嫌だと思ったら、反対に質問しかえしてみてもいいでしょう。また、あまりにも失礼な質問には、断固とした態度をとるべきです。ただし、初対面の人を怒鳴りつけたり、席を立ったりするのは考えものです。日本人は直接的な対決を嫌がりますから、どうしても答えたくないような質問には、次のようにジョークめかして不快感を表す程度にしておいたほうが無難かもしれません。

「それは秘密です。……それも秘密です。」

「ご想像におまかせします。」

くれぐれも、「そんな質問は失礼です」とか「答える義務はありません」などとは言わないように。相手の日本人は、驚いてうつむき、耳まで赤くしてしまうことでしょう。その後のミーティングがだいなしになることは間違いありません。

さらに、残念なことですが、日本社会においては、外国人が日本語をマスターしたり、日本の文化・習慣を学習する外国人がいるといったことを信じきれない人たちが、いまだに数多くいます。「漢字は読めますか」「納豆は食べられますか」「箸は使えますか」、こういった質問もたびたび受けることと思います。ことによると、会う人ごとにされるかも知れません。そんな時でも、にこやかに謙遜しながら答えてあげるのが最善の方法ではないでしょうか。